

【草花の部屋】

アスター・アルピヌス（キク科シオン属 *Aster alpinus*）

和名：アスター・アルピヌス、ミヤマノギク（深山野菊） **別名**：

英名：Alpine aster

キク目 多年草 **原産地**：ヨーロッパ

花言葉：信じる心 **花の色**：淡青紫、淡赤紫色



← 写真-1 アスター・アルピヌス
撮影日：2015年07月14日
撮影場所：シーニゲ・プラッテ
高山植物園(スイス)にて
撮影者：M さん



→ 写真-2 アスター・アルピヌス
撮影日：2015年07月14日
撮影場所：シーニゲ・プラッテ
高山植物園(スイス)にて
撮影者：M さん

シーニゲ・プラッテ高山植物園内を散策中に見かけた花です。名札も付いていたので、帰国後、調べて解りました。

この花は、エーデルワイスの近くに必ずある花だそうです。エーデルワイスは見つけづらいので、とりあえずこの花を探し、その付近を探すとよいそうです。シーニゲ・プラッテ高山植物園でも、すぐ近くに、エーデルワイスの写真プレートが置かれていました。なぜここに、エーデルワイスの写真が？と思いつつ、離れました。

< ちょっと一言 >

シーニゲ・プラッテ高山植物園(アルペンガーデン)は、標高約 1950m から 2000m の山岳地帯に約 600 種類もの高山植物が、その植物が本来、生息している環境(岩山、ガレ場、草原など)をできる限り再現した植栽にしているそうです。散策路も整備され、ちょっとしたトレイルも兼ねたような高山植物園。

数々の花が名札付きで見られて便利。全部を観察するには、二時間ほど・・・。植物園の総面積は 8,323 m²。2008 年に兵庫県神戸市の六甲高山植物園と姉妹提携。

約 1 時間弱の散策でしたが、エーデルワイスをはじめ、普段、なかなか目にすることのできない植物を堪能しましたが・・・。種類と量に、少々、食傷気味に・・・。ハイキング中に見かけた時のような感動は・・・。

1893 年に開通した伝統の登山鉄道で、高低差 1383m のルートをゆっくりと上った所がありました。車窓からアルプスの山々や、眼下にインターラーケン、トゥーン湖、ブリエンツ湖の眺望も楽しめました。